

## 水道事業の広域連携の推進について

### 1 要旨

「広島県水道広域連携推進方針（令和2年6月策定）」（以下、「方針」という。）に基づく、水道事業の広域連携の取組状況について報告する。

### 2 現状・背景

- 方針においては、広域連携の基本的枠組として、県内水道事業の経営組織を一元化する「統合による連携」を適当とし、事情により統合への参画が困難な市町は、「統合以外の連携」を選択し、広域連携に取り組むこととしている。
- 「統合による連携」として県と14市町\*が令和4年11月に設立した広島県水道広域連合企業団（以下、「水道企業団」という。）は、令和5年度から事業開始し、広域計画（令和5年1月策定）に基づく施設の再編整備や危機管理の強化などに取り組んでいる。  
 [ ※14市町：竹原市、三原市、府中市、三次市、庄原市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、熊野町、北広島町、大崎上島町、世羅町、神石高原町 ]
- 「統合以外の連携」を選択した7市町\*とは、7市町と水道企業団の双方にメリットがあり、かつ早期に実現可能な連携策に取り組むこととしている。  
 [ ※7市町：広島市、呉市、尾道市、福山市、大竹市、海田町、安芸太田町 ]

### 3 取組内容

#### (1) 統合による連携

対 象	水道企業団（14市町及び県）
目 的	統合によるスケールメリットや国交付金の活用などにより、経営基盤を強化することで、将来にわたり持続可能な水道システムを構築
R7 取組	<p>広域計画に基づき、耐震化などの危機管理対策や施設の再編整備、DXによる維持管理やサービス向上、組織・管理体制の強化に向けた取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基幹管路の更新、耐震化を実施（完成延長：約16km）</li> <li>・ 海田－呉間を結ぶ二期トンネル整備（完了）</li> <li>・ 宮島海底送水管の二重化（完了）</li> <li>・ 水道用水供給事業及び工業用水道事業の9施設で広域運転監視システムの本稼働</li> <li>・ 白ヶ瀬浄水場でAIを活用した薬品注入自動化システムの運用開始</li> <li>・ 給水装置工事に係る施工基準及び手数料等の統一に向けた調整</li> <li>・ 入札契約制度の統一に向けた調整</li> <li>・ 水道管路のデータを管理する管路情報管理システムの整備着手</li> <li>・ 水道用水供給事業及び工業用水道事業の一部の浄水場等で導入している指定管理業務に施設整備業務を追加</li> <li>・ プロパー職員（水道技術職員）の採用試験を実施（令和8年度9名採用）</li> </ul>

<b>R 8 取組</b>	<p>引き続き、広域計画に基づき、取組を着実に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基幹管路の更新、耐震化（発注延長：約25.5km）</li> <li>・ 本郷埜田浄水場―片山浄水場連絡管整備（R8完了予定）</li> <li>・ 東広島市域工業用水道整備（R8完了予定）</li> <li>・ 14市町水道事業の広域運転監視システム整備に向けた調整</li> <li>・ 管路情報管理システムの整備</li> <li>・ 給水装置工事に係る施工基準及び手数料等の統一運用開始(R8.4)</li> <li>・ 入札契約制度の統一運用開始(R8.4)</li> <li>・ プロパー職員（水道技術職員）の採用試験を実施</li> </ul>
-------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## (2) 統合以外の連携

### ア 職員研修の共同実施

<b>対 象</b>	県内水道事業体（7市町及び水道企業団）及び県関係課の職員
<b>目 的</b>	人材育成（職員の技術力の維持・向上）
<b>R 7 取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年度当初に、広島市、福山市及び水道企業団と研修メニューの調整を行い、通年の研修計画を作成</li> <li>○ 技術研修を中心に、基礎研修から専門性の高い研修まで、年間32メニューの研修を実施し、延べ644名が参加 【参加者数】R4(11月～3月):126名、R5:680名、R6:606名、R7:644名</li> </ul>
<b>R 8 取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き、広島市、福山市及び水道企業団において研修を主催し、年間34メニュー（うち新規5メニュー）を計画</li> </ul>

### イ 情報交換会の開催

<b>対 象</b>	県内水道事業体（7市町及び水道企業団）及び県関係課
<b>目 的</b>	広域連携による経営基盤の強化
<b>R 7 取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広域連携の取組状況の情報共有及び意見交換を実施（R8.2.6開催） 【議題等】 <ul style="list-style-type: none"> <li>■職員研修の共同実施の取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上半期の研修実施状況について</li> </ul> </li> <li>■水道DXの取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道企業団における広域運転監視システムの稼働開始</li> <li>・ 水道企業団におけるスマートメーター導入やAIによる管路劣化予測診断等</li> </ul> </li> <li>■水道企業団の取組及び予算 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和7年度の取組実績、令和8年度の事業計画</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
<b>R 8 取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き、開催（年1回以上）</li> </ul>

## 4 今後の取組

引き続き、方針に基づき、広域連携を推進し、県内水道事業体の経営基盤を強化することにより、持続可能な水道システムを構築していく。